

応急仮設住宅について

〔能登半島地震の被災者向け〕

新設

- 必要戸数6,882戸のうち、6,671戸（97%）が完成
- 残る211戸については、遅くとも年内には全戸を完成し、入居いただく
→珠洲市：5箇所187戸、内灘町：1箇所20戸、宝達志水町：1箇所4戸

修繕

- 奥能登豪雨により浸水被害が確認された仮設住宅（床上浸水6団地（218戸）等）については、現在修繕中
→輪島市：5箇所199戸、珠洲市：1箇所19戸
遅くとも年内には全戸の修繕を完了し、入居いただく



床の張替え状況

〔奥能登豪雨の被災者向け〕

〔10/16時点〕

〔現時点〕

- 輪島市・珠洲市において、必要戸数を精査 約390戸 → 286戸
(輪島市290戸→4箇所264戸、珠洲市約100戸→1箇所22戸)
- 昨日までに134戸に着工し、本日残る152戸に着工、
2月から遅くとも3月末までの完成を目指す

県水送水管の2系統化について（①整備・供用状況）



土木部水道企業課 076(225)1575

○ 県水送水管の2系統化とは

- ・既存の送水管が耐震化されていないことから、新たに耐震化された送水管を別ルートで整備し2系統化
- ・平常時は2系統、災害時など万が一の場合でも1系統を確保して送水

○ 整備・供用状況

- ・H19年能登半島地震を契機にH22年度より県水送水管の2系統化事業に着手
- ・全体計画延長約130kmのうち、約77kmの整備が完了し、このうち、約20kmを供用

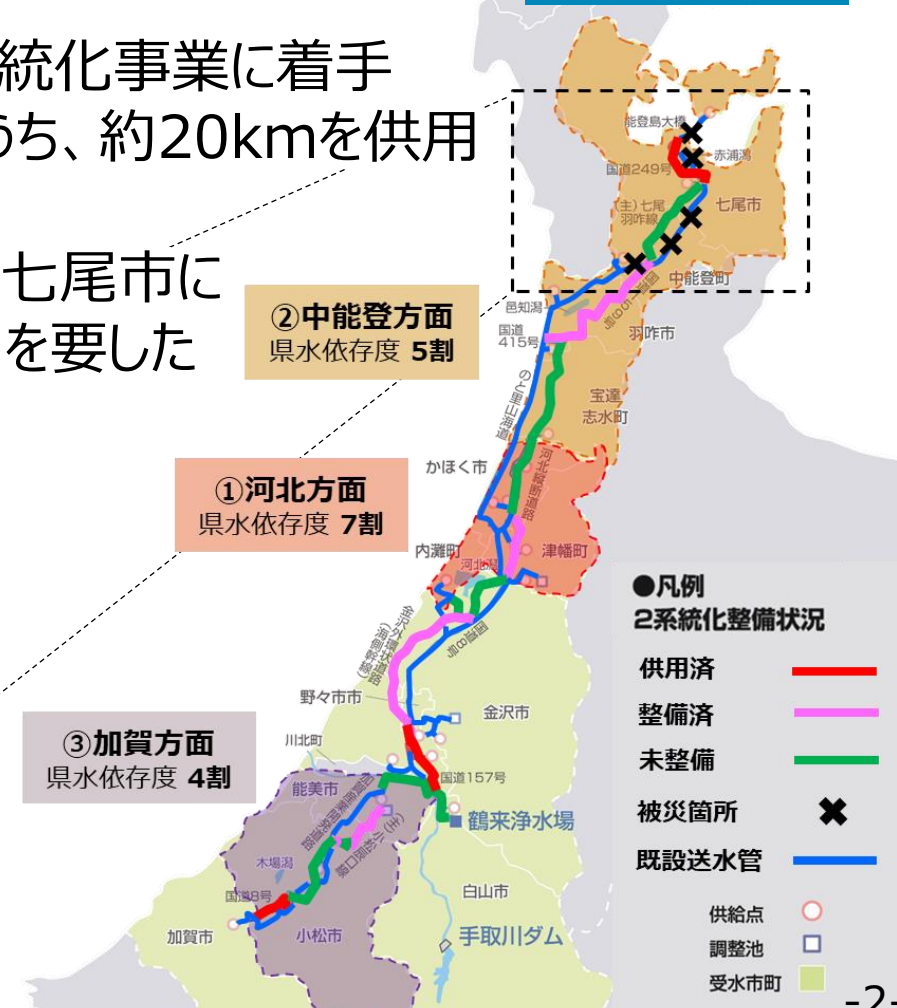
○ 2系統化の効果

- ・R6年能登半島地震により、県水供給エリアのうち、中能登町から七尾市にかけて、2系統化されていないため被害が集中、復旧に2カ月弱を要した

整備・供用状況
(R6.10月末時点)



非耐震管の被災状況



- ・2系統化完了区間は被害がなく、2系統化の重要性を再認識
- ⇒ 整備計画を2年前倒し、R12年度までの完成を目指す

県水送水管の2系統化について (②今回供用区間)

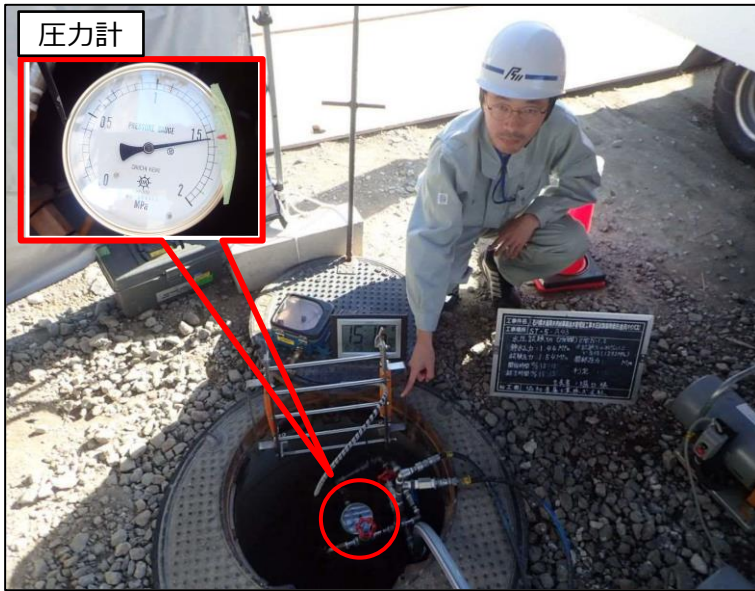


○本年度の供用開始エリアの拡大

- 野々市市末松から金沢市大河端町までの整備済みの約15kmの送水管について、必要な水圧試験などの目途がたったことから、11月12日に供用開始

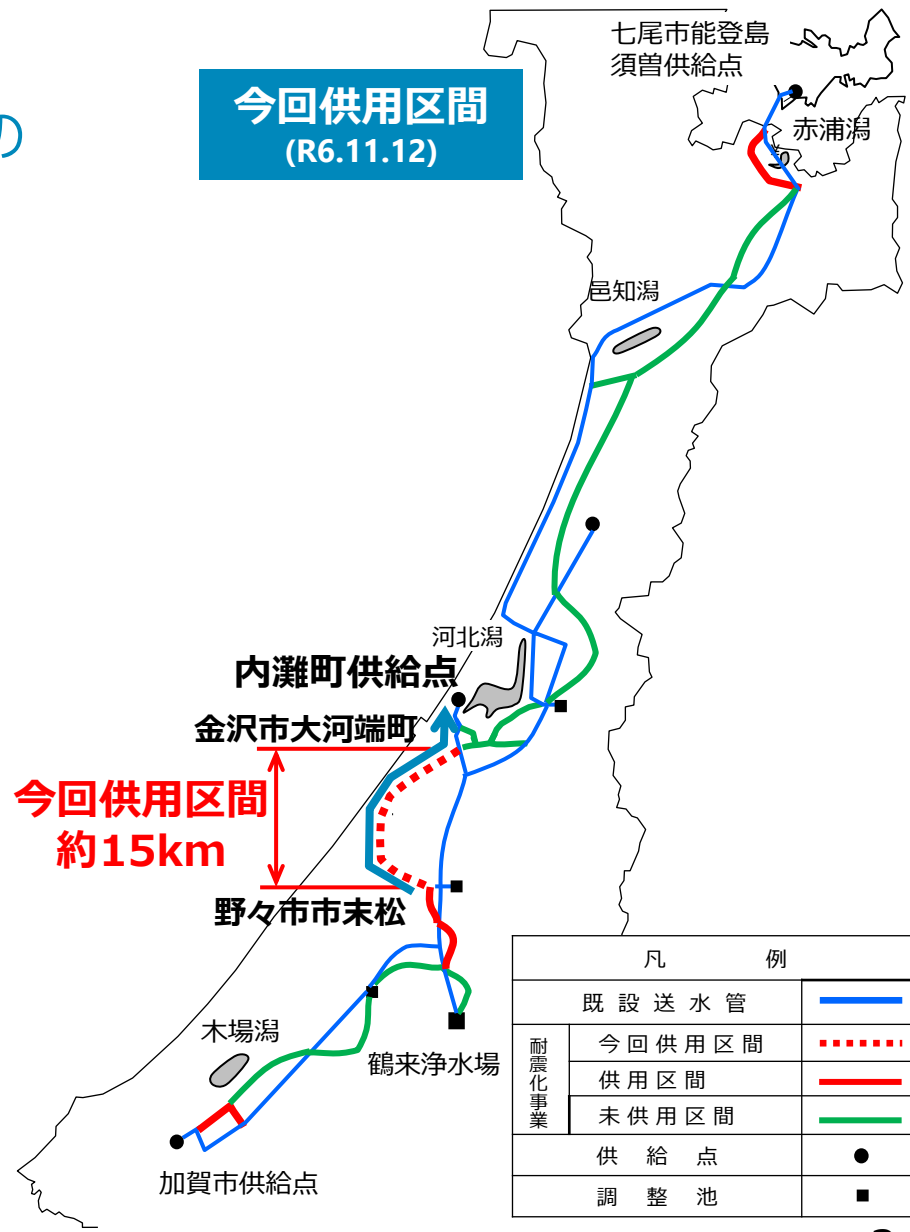


2系統化（耐震管）の整備状況



耐震管の水圧試験

- 引き続き、着実に整備を進め、R12年度までに県水送水管の2系統化を完成させ、早期供用を目指す





復興フェア 「のともっとMARCHE OSAKA」の開催



能登の復旧・復興に向け応援消費を促進するため、3大都市圏での復興フェアを、8月の東京に続き、大阪で「**のともっとMARCHE OSAKA**」を開催

日程： 11月22日(金)、23日(土)

場所： KITTE大阪 地下1階 サンクンガーデン

- 内容：
- ・能登棚田米の特製おにぎり無料配布
 - ・県産農林水産物や加工品の販売
 - ・能登の農林漁業者の復旧・復興の状況を伝える写真展示や動画放映
 - ・「HOKURIKU+」のサインージでPR



おにぎりの配布



物販ブース



写真展



今後参加する
他県の農林
水産フェア

○あいちの農林水産フェア

日程： 11/9～10 (土・日)

場所： 金山総合駅連絡通路橋イベント広場 (名古屋市)

○京都府農林水産フェスティバル2024

日程： 11/30～12/1 (土・日)

場所： 京都府総合見本市会館 (京都市)

- ・来年3月、県内でも復興フェアを開催
- ・フェアを通じて応援消費を図り、被災した農林漁業者の生業継続を支援

成長戦略ファンドの取り組みについて

昨年度、新技術・新製品の研究開発を支援してきた「次世代ファンド」と、地域資源を活用した新商品開発等を支援してきた「チャレンジファンド」を統合・リニューアルし、「成長戦略ファンド」（700億円）を創設。

（参考）【昨年度（令和5年度）採択実績】（採択102件/申請174件）

●DX推進（上限3,000万円）	: 3/12件	●GX推進（上限3,000万円）	: 3/ 7件	●国プロFS（上限500万円）	: 4/ 7件
●スタートアップ創出（上限500万円）	: 8/ 9件	●地域資源活用（上限500万円）	: 78/126件	●社会課題解決（上限300万円）	: 6/13件

令和5年度採択案件

GX推進枠 <テックワン(株) (能美市) > リチウムイオン電池の材料開発

高価なリチウムの割合を減らし、安価なカルシウムを加え、従来と同等以上の性能を発揮する安価なリチウムイオン電池の材料を開発。



リチウムイオン電池はEVやドローンに活用され、需要増が見込まれる

<これまでの成果と進捗>

試作品を開発し、取引先等からの評価を受けて性能改良を進めている。

地域資源活用枠 ますい さいほん かんしつ <升井彩本乾漆 (輪島市) > 輪島塗を施した真珠等 (漆珠) のアクセサリ新商品開発

- 真珠核に天然の漆を塗り、光沢を出した「漆珠(うるしだま)」を使ったピアス等を製造、販売。
- これまでの製品に特殊な技法でゴールドを施した新商品を開発。



<これまでの成果と進捗>

地震前の採択であったが、地震発生後も開発を続け、展示会において、ゴールドを加飾した製品はバイヤー等から高い注目を集め、今後の販路拡大に高い期待。

成長戦略ファンドの令和6年度採択案件について



今年度は、審査の結果、申請123件のうち91件（約3.9億円）を採択

（参考）【今年度採択実績】（採択91件/申請123件）

- | | | | | | |
|---------------------|---------|------------------|----------|------------------|---------|
| ●DX推進（上限3,000万円） | ： 3/ 4件 | ●GX推進（上限3,000万円） | ： 3/ 4件 | ●国プロFS（上限500万円） | ： 3/ 3件 |
| ●スタートアップ創出（上限500万円） | ： 8/11件 | ●地域資源活用（上限500万円） | ： 65/85件 | ●社会課題解決（上限300万円） | ： 9/16件 |

令和6年度採択案件

DX推進枠

＜株）PFU（かほく市）＞

金属等の外観検査技術の向上

表面のテカリにより外観検査の自動化が困難な製品向けに、AIを用いて簡単にテカリを除去した画像を撮影し自動検査を行う装置を開発。



キズが
浮き出て
見える



GX推進枠

＜株）成宏電機（小松市）＞

水素利用による再エネの有効活用

再エネ電力（太陽光）の使用量が少なくなる春・秋に、余った電力を水素として貯蔵できるシステムを開発・導入。

春・秋は余剰電力を水素に変換、
夏・冬は水素を電力に変換する



地域資源活用枠

＜ヌシヤ株）（輪島市）＞

欧州向けギフト商品の開発

輪島塗若手職人の感性を活かし、現代の生活様式に合ったギフト商品を開発、伝統工芸への理解がある欧州をターゲットに販路開拓。



（例）ゴルフマーカー

事業化・販路開拓までを伴走支援し、数多くの新事業を創出して本県の産業成長につなげる